

本計画の目的・趣旨

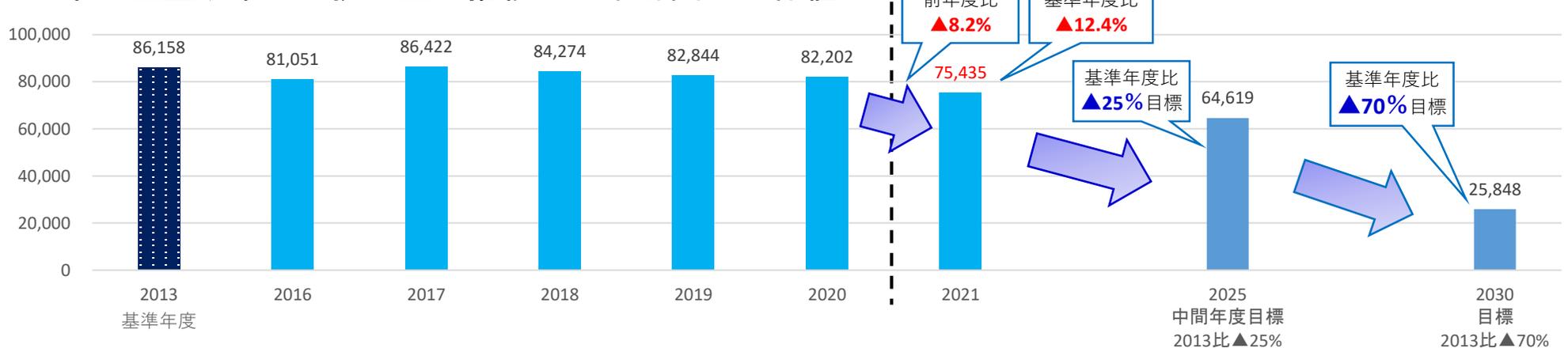
➤ 「2050年脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、大規模な排出事業者である県が率先して、自らの事務及び事業から排出される温室効果ガスの削減を図り、県民、事業者及び市町村等の主体的な取組みを促進するため、「2013年度比で2030年度に70%減」との目標値を設定し、取組みを推進

本計画（2021(R3)～2030年度(R12)）の目標

項目		基準年度 (2013(H25))	[参考] (2020(R2))	最新実績 (2021(R3))	中間目標 (2025(R7))	本計画目標 (2030(R12))
温室効果ガス 排出量	基準年度比 削減率(%)	—	2013年度比 ▲4.6%	2013年度比 ▲12.4%	2013年度比 ▲25.0%	2013年度比 ▲70.0%
	排出量 (t-CO ₂)	86,158	82,202	75,435	64,619	25,848

総排出量79,455 - 再エネ30%電力による削減量4,020

＜県の温室効果ガス排出量の推移及び本計画の目標値＞



■進捗管理目標及び省資源の取組目標の状況

<進捗管理目標>

率先実施の取組み	項目	[参考] (2020) (R2)	実績 (2021) (R3)	中間年度 目標値 (2025(R7))	本計画 目標値 (2030(R12))
①県有施設の徹底的な 省エネ推進	エネルギーの使用に係る 原単位の削減率 (%)	知事部局	+0.8	-	知事部局、教育委員会、警察本部 でそれぞれ毎年度▲1%以上
		教育委員会	+0.4	-	
		警察本部	+1.6	-	
	県有施設へのLED照明の導入割合 (%)	-	7.9	-	100
②県有施設への再エネ の積極導入	使用電力のうち、再エネ電力の割合 (%) ※テナント入居施設等を除く	-	7.1	30	100
	県有施設等への太陽光発電設備の導入率 (%)	-	-	-	設置可能な 施設等の50
③公用車への 次世代自動車の導入	公用車(乗用車)のうち、次世代自動車の 割合 (%)	1.3	2.3	-	100

<省資源の取組目標>

項目	[参考] (2020(R2))	実績 (2021(R3))	本計画目標 (2030(R12))
紙使用量 (万枚)	18,058	17,973	15,692
ペーパーレス会議開催率 (庁内会議) (%)	-	44.9	100
水使用量 (千m3)	762	797	767
廃棄物処分量 (t)	1,102	1,321	1,022

■ 率先実施による温室効果ガス削減状況

< 率先実施①：省エネ設備の更新 > ▲ 561 t

	2021(R3)実績		[参考] 2022(R4)予定	
	施設数	温室効果ガス 排出削減量 (t-CO ₂)	施設数	温室効果ガス 排出削減量 (t-CO ₂)
照明の更新	44	▲549	15	▲267
空調の更新	18	▲12	23	▲67
その他	4	0	5	0
計	66	▲561	43	▲334

< 率先実施②：再エネ由来電力の調達 > ▲ 4,020 t

	2021(R3)実績		[参考] 2022(R4)予定	
	施設数	温室効果ガス 排出削減量 (t-CO ₂)	施設数	温室効果ガス 排出削減量 (t-CO ₂)
再エネ 由来電力	97	▲4,020	40	▲2,521

< 率先実施③：次世代自動車の導入 > ▲ 2 t

車両区分		EV	PHV	FCV	計	温室効果ガス 排出削減量 (t-CO ₂)
2021(R3) 実績	普通・小型	0	1	2	3	▲2
	軽	0	0	0	0	
[参考]2022 (R4)予定	普通・小型	1	0	1	2	▲2
	軽	0	0	0	0	

2021年度（令和3年度）実績

- 率先実施① 県有施設の省エネ推進：
66施設で設備の改修・更新による徹底的な省エネを推進
 → **▲561 t**
- 率先実施② 県有施設への再エネ導入：
 再エネ30%電力の調達を**97施設**で実施
 → **全254施設の約38%**を再エネ電力に
 (▲4,020 t)
 ※2022年度（令和4年度）は、原油価格の高騰などを背景に電力価格が上昇、県有施設の電力供給契約も入札不調が発生し、前年度実績を大幅に下回る状況
- 率先実施③ 次世代自動車の導入：
 更新予定の普通・小型乗用車のうち**3台**導入
 → **▲2 t**



①～③の合計で **▲4,583 t**
 (2013年度（基準年度）比 **▲5.3%**)

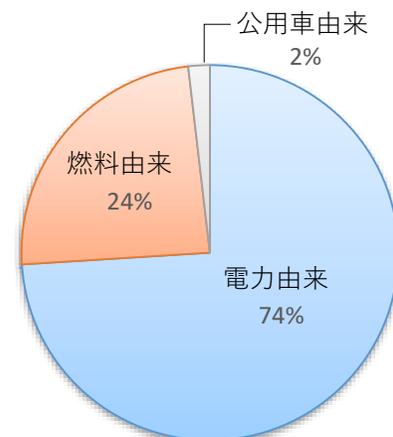
■ 温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の推移

- 基準年度比では、**エネルギー総使用量、電力・燃料使用量ともに増加傾向**だが、再エネ由来電力の購入や小売電気事業者の排出係数低下により、**2021年度(令和3年度)の温室効果ガス排出量は▲12.4%と大幅に減少**
- 前年度比では、新型コロナウイルス対策として別室勤務を実施したほか、施設の休止期間の減などにより**エネルギー総使用量、電力使用量は微増**。一方、**公用車由来のエネルギー使用量は出張の減により減少**

< 排出項目別の温室効果ガス排出量内訳及び推移 >

※下段は基準年度比(%)

温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2013(H25) (基準年度)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)
総排出量	86,158	81,051	86,422	84,274	82,844	82,202	75,435
		94.1%	100.3%	97.8%	96.2%	95.4%	87.6%
うち電力由来	66,534	61,575	64,661	63,678	62,664	61,734	55,248
		92.5%	97.2%	95.7%	94.2%	92.8%	83.0%
うち燃料由来 ※都市ガス、LPガス、灯油、A重油	17,875	16,862	17,544	17,004	17,778	18,350	18,034
		94.3%	98.1%	95.1%	99.5%	102.7%	100.9%
うち公用車由来	1,749	1,666	1,680	1,678	1,601	1,455	1,437
		95.3%	96.1%	95.9%	91.5%	83.2%	78.7%
フロン漏えい	—	949	2,537	1,914	802	663	716



< エネルギー使用量の推移 >

※下段は基準年度比(%)

エネルギー使用量(原油換算値kL)	2013(H25) (基準年度)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)
総使用量	39,350	40,476	41,381	41,223	41,541	42,197	42,291
		102.9%	105.2%	104.8%	105.6%	107.2%	107.5%
うち電力由来	33,048	34,239	34,883	34,858	35,103	35,880	36,001
		103.6%	105.6%	105.5%	106.2%	108.6%	108.9%
うち燃料由来	5,648	5,622	5,878	5,749	5,849	5,782	5,762
		99.5%	104.1%	101.8%	103.6%	102.4%	102.0%
うち公用車由来	654	615	620	616	589	535	528
		94.1%	94.8%	94.2%	90.1%	81.8%	80.7%

